

1 会議名 令和7年度 一関市立藤沢中学校 第1回 学校運営協議会

2 開催日時 令和7年6月20日(金) 10:00~11:30

3 開催場所 一関市立藤沢中学校 1階 会議室

4 出席者

星 義弘委員(会長)、櫻井博勝委員(副会長)、鈴木みえ委員、千葉英利子委員、佐藤聖子委員、菊池慶正委員、大川憲一委員(校長)、佐々木済通委員(副校長)

5 次第および議題

(1) 授業参観

(2) 議題

ア 学校運営支援協議会について

イ 令和7年度 学校運営の基本方針について

ウ 不登校対策について

エ その他

(3) 情報交換

6 公開、非公開の別 (1)および(2): 公開 (3): 非公開

7 傍聴者 0人

8 議事内容等

(1) 学校運営支援協議会について

- ・校長より説明。
- ・目的と年間計画は資料で提示した通り。
- ・2学期は生徒を交えながらの熟議を考えている。
- ・選任によって、会長、副会長を決定。

【質問】 特になし

(2) 令和7年度 学校運営の基本方針について

- ・校長が学校要覧を使用しながら学校運営の重点を5つを説明。その中で特に重点と捉えている「学力向上」「不登校対策」の2点を中心に説明した。

【質問】

星 委員: 学校に対して、外部機関からの様々な依頼や関わっていることはあるか。

大川委員: 2年生は社会体験学習、3年生は高校説明会などキャリア教育に特化したものが多い。

星 委員: 地域でものづくりの体験学習をできないかと考えている企業がある。その学習を通して、エンジニアに関わる業種が中学生からの進路選択の一つの参考になればと思っている。さらには、地元定着を目指したものである。

菊地委員: 不登校の減少の手立てとして「学校が楽しい」「授業がわかる」など学校としてのうりがあると子どもたちも登校につながるきっかけになるかもしれない。学校のうりとして新しく赴任した副校長先生の目からどのように映っているか。

佐々木委員: 先生方の様子を見ると「子どもが主語」になるような取り組みをしている。例えば、教材研究において、より生徒が理解できるようにどうすべきかを職員同士で共有するなど、より良い授業づくりに努めている。また、別室で学習する生徒に対してはTeams を利用し授業をオンラインでつなぎ提供している。生徒が学習す

ること、それを理解し自信に繋がるようにする環境づくりを学校全体で心掛けて
いることがうりではないか。また、何か確認すべき事項が出た場合は全職員に周
知できるよう文書に残しておくなど、一つのチームとして協働していく工夫がみ
られる。

星 委員：先ほど、「学校のうり」があるとよいのではないかと意見があったが、市町村合併
前にあった国際交流事業がうりであったと考える。多文化を知るには大変有効的
な事業だったと思う。

・学校方針に関して、委員より承認を得た。

(3)情報交換（不登校対策についても含めて）

・副校長より説明。

【質問・意見】

菊地委員：学校→良いところを引き出す、家庭→それを支える、地域→学校、家庭で補えな
い部分に取り組むなど、学校、家庭、地域がそれぞれの役割がありそれを一緒に
取り組むことが大切と考える。また、不登校の生徒、家庭に対してアンケートを
とるなど、なにか学校に登校するきっかけになることを実施してみてもどうか。

佐藤委員：保育園では6月から市の依頼を受け、教育相談を実施している。対象は通園して
いる方、地域の方とだれでも幅広く受け付けている。不登校の生徒や保護者への
周知していただき、その教育相談の活用によって一つのきっかけになるとよいと
考えている。

鈴木委員：不登校について増えていることを聞くが同時に親も困っていることも耳にする。
実際不登校の原因がわからないとか学校に行かなくても大丈夫、というのは昔と
は異なりそれでよいのかないという思いはあるが、何か協力できることをやっていき
たい。

櫻井委員：不登校の原因は一人一人原因が違う。また、人数も多くなっているため担任や生
徒指導主事がなかなか特定の一人に入り込めない現状である。ただ、例として野
球で言えば「いくら大打者でも10割打つ人はいない、せいぜい3割であること」
と考えると必ずしも完璧を求めるのではなく、スモールステップで取り組んでいく
ことが大切でないか。また野球の話になるが、「足が速ければ代走に、バッティン
グがだめでも守備が上手なら守備固め」など一人一人の特性を生かしたものを伸
ばすように心がけることが大切である。

(4)その他

菊地委員：第2回学校運営支援協議会の熟議に関して内容は決まっているのか。

大川委員：これから決めるところであるが、皆様より何かご提案はあるか。

佐々木委員：ある中学校では、地域の方と中学生が100人程が数グループにわかれ、生徒が
地域の困りごとや自分の考えを地域の方に伝える会を実施していると聞いた。

大川委員：それも参考にしながら検討していき。また、内容に関して皆様よりご意見いた
だくこともあると思われる。その時はぜひご協力願いたい。